

総合教育会議（第3回）会議録

1 開会年月日	令和3年2月26日（金） 午後6時2分
2 場 所	笠岡市役所 市長室
3 出席委員等の氏名	笠岡市：市長 小林嘉文 教育委員会：教育長 岡田達也 教育委員 石井 啓弐, 藤谷 幸弘, 山下 敬広, 東山 琴子
4 欠席委員等の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	教育総務課長 虫明 隆 学校教育課長 山川 達也 学校教育課主幹 後藤 嘉孝
6 議事案件及び会議の概要	
<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 小林市長 岡田教育長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) GIGAスクール構想の進捗状況について</p> <p>学校教育課が、実際に子どもたちに配布している端末を用いて、学校での取組状況について実演を行い、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅にインターネット環境が整備できていない家庭にはWi-Fiルーターの貸し出しを行う。例えば土曜日とかに何かを発信する場合、Wi-Fi用ルーターの貸し出しが間に合わなかったら、学校の教室を開放したい。また、将来的には公民館へフリーWi-Fiを整備し、開放することも考えている。 ・授業での発表が変わってきている。今までは手を挙げて発表していたものを全員が考えを端末に打ち込み、全員が何を考えているかというのが一目で見える形になっている。先生もこの子が何を考えているのかということが分かるし、記録にも残る。何も書いていない子には個別にアプローチができる。 ・先生がどういう質問のときに端末を使って答えさせるか、というのは吟味が必要。正解不正解が一目でわかるような問題ではなく、答えがたくさんあるような問題、一問一答ではなくて一問に対して、いろいろな考え方を答えさせる。今はそういう授業になっている。 ・遠隔授業で、例えば真鍋小の5年生の生徒が中央小学校の授業に入ることもできる。小中一貫教育で乗り入れ授業をする際に、時間設定がしんどいときには、中学校で英語の授業をし、それを撮って配信することもできる。 ・授業でも調べ学習は、前は図書室まで行って調べる必要があったが、端末で調べてレポートを出すことも可能。だが、やり方によって、コピーして貼り付けたただけだと全然自分の中で消化できず、発表のときに困ることになる。だからICT機器のメリットと、昔ながらの授業を合わせることによって補完する。 ・端末の使い方については、県が指導技術を上げるためのマニュアルを作っている。ステップ1、ステップ2、ステップ3とあって、レベルごとに授業内容も少し上げていくようなマニュアルがある。 ・先生の研修も良い先生の授業を録画し、1つのモデルとして見てまねることができるように映像を共有することを考えている。 ・端末にはフィルタリングを行い、インターネットへのアクセスに制限をかけるが、調べ学習を考慮するとそんなに狭くはできない。どこまですり抜けてくるかというのはわからない。結局ユーチューブには、つながるわけであり、ファジーなところもある。子ども達はこれまでも自分で考えて判断するというのもやってきているはずであり、これからの教育で求めるのは、自分で考えて判断して行動して、リスクを自分で負うというのが、これからの教育の大事なところである。そして家庭としての役割があるので、定期的に話題にさせていただくことをお願いする文書は作ろうと考えている。最低限のセキュリティ、行政でできることと教育でできることと保護者の方達でやってもらうことと、この 	

三層構造みたいな形で子ども達を守っていこうと思っている。

- 英語の授業では、ALTを積極的に活用することとし、ALTの先生が授業に入ってくることによって、英語の先生のスキルは本当に求められている。小学校の外国語活動の授業において、先生のスキルアップのため、英語専科の先生方の授業をモデルとして、市内に広げていく方法が1つある。それを動画に撮って、情報を共有するのは良いかも知れない。そして、子ども達もそれを見られるようになれば、学びの対象が広がる。
- 地域学についても動画とか写真とかの共有コンテンツを作り、どの学校からでもアクセスして使えるようにしたい。各学校で地域学をされたものをデータで提出してもらい、皆が使えるようにしたい。
- 端末が故障した場合、学校から教育委員会にまず相談があり、集約はできる。学校には予備の端末を何か用意しており、予備がある場合はそれを貸し出す。また、壊れた端末は修理会社に送り、すぐに代替りの端末が送られて来るようになっており、壊れてそのままということはない。
- 教育委員から、端末については、実際に使ってみないと分からない部分もあるので、実際にこれを使い出して、学校からの情報、家庭からの情報、そういったところをしっかりと聞く窓口として、校長先生にもお願いして、問題があればすぐに把握でき、そして笠岡市全体で対応できるような体制を整えておく方が良いとの意見あり。
- 学校からの情報は校長先生を通しており、保護者の情報を得ることについては、PTA連合会と連携を取りたいと思っている。定期的に会議をして情報を得るようにし、何か不具合があったらすぐに家庭から学校に連絡していただくようなシステムをつくり、教育委員会で集約したい。

【報告事項】

(1) 学校運営協議会について

- 今度の会議のときに、現状の教育についての説明をしないといけないので、GIGAスクールのお話をさせていただく。どれだけ学校が主体性を持って、その場で話をするかだと思う。中学校でどんな子どもを育てたいかというのを、ゴールを共有してもらいたい。

(2) 貫閲講堂について

- 令和3年3月議会に「貫閲講堂を残して欲しい」との請願が出された。今の現状、文化的な価値はどうか、残すためにお金をかけたらどうなのかという具体的な説明を教育委員会が各地域で行いたい。そこで出た、いろいろな地域の意見を踏まえて考えるようにすることで、費用対効果の部分等の公平性を確保すれば、納得性が高くなると考えており、段取りを進めている。今後各中学校区10箇所の説明会を予定しており、皆さんの意見を聞いて合意形成をしていく、賛否を問うというものをこれから何ヶ月か秋口ぐらいまで時間をかけて行う。そこで広く意見を伺って、費用対効果として本当に必要なのか、公平性を考えたときに本当にそれでいいのかという意見の集約を図る。

4 閉会年月日

令和3年2月26日(金) 午後8時00分

上記会議のてんまつを記録し、関係図書を添付して、その相違のないことを証するため、署名押印します。

令和3年5月27日

笠岡市長 小林嘉文

教育長 岡田達也

教育委員 石井啓一

教育委員 藤谷幸弘

教育委員 山下敬広

教育委員 東山琴子